

ショートトーク ST-1～10 のポスターは 2 日間掲示されます

ポスター討論 I

P1-1～59、ST-1～10 5月24日(木) 15:30～17:00

- P1-1 マウスにおける減数分裂の開始機構
石黒 啓一郎 (熊本大学発生医学研究所)
- P1-2 KDM6B は脱メチル化酵素活性非依存的に MAPK 経路遺伝子を誘導し多発性骨髄腫細胞生存増殖に寄与する
大口 裕人 (ハーバードメディカルスクール デナファーバー癌研究所、
熊本大学生命資源研究・支援センター)
- P1-3 Dnmt3a はマウス筋萎縮時に発現減少し、筋再生能が低下する
亀井 康富 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科分子栄養学研究室)
- P1-4 ゲノムインプリンティングの破綻による個体発生および発がんへの影響
島田 由衣 (京都大学医学研究科、東京大学医科学研究所)
- P1-5 胎児期喫煙曝露による臍帯血における DNA メチル化変化領域の同定
三宅 邦夫 (山梨大学大学院総合研究部社会医学講座)
- P1-6 イネ胚乳におけるトランスポゾンの発現ダイナミクス
永田 博基 (横浜市立大学木原生物学研究所)
- P1-7 末梢血 IL6 遺伝子のメチル化率と自己免疫性甲状腺疾患の発症・予後との関連
木之下 陸 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座)
- P1-8 血液細胞を用いた DNA メチル化バイオマーカー探索のためのキャプチャシーケンス用プローブの設計
大桃 秀樹 (岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構)
- P1-9 いわて東北メディカル・メガバンク機構におけるエピゲノムコホート研究
清水 厚志 (岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構)
- P1-10 *DDI2* / *DDI3* におけるヘテロクロマチン領域の揺らぎと発現制御を行う因子の解析
沖 昌也 (福井大学大学院工学研究科生物応用化学専攻、
福井大学ライフサイエンスイノベーションセンター)
- P1-11 サポートベクターマシーンをを用いた「XOR」ルールを示すエピジェネティックマーカーの同定
飯田 直子 (国立がん研究センター研究所)
- P1-12 FTO による m⁶A 修飾の制御と体重調節
河野 大輔 (群馬大学生体調節研究所代謝シグナル解析分野)

- P1-13 精子エピゲノム影響評価による非侵襲的な早期精巣毒性バイオマーカーの探索
酒井 和哉 (東北大学大学院農学研究科動物生殖科学分野)
- P1-14 miRNA 発現異常は慢性 B 型肝炎における核酸アナログ投与後発癌リスクと相関する
新沼 猛 (札幌医科大学医学部分子生物学講座)
- P1-15 有袋類 *IGF2R* の DMR から転写される新規アンチセンス lncRNA の同定
鈴木 俊介 (信州大学農学部農学生命科学科、
信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所)
- P1-16 *Mycn* による未分化性肝腫瘍の誘発
平野 利忠 (京都大学医学研究科、東京大学医科学研究所)
- P1-17 胎盤幹細胞における Zfp281 に依存的なエピゲノム・転写制御は胎盤発生に必須である
石内 崇士 (九州大学生体防御医学研究所エピゲノム制御学)
- P1-18 ヒストン H3K27 メチル化モジュレーターの創製研究
薬師寺 文華 (北海道大学大学院薬学研究院)
- P1-19 単一成熟精子集団を用いた残存ヒストン結合領域の同定
吉田 圭介 (理化学研究所眞貝細胞記憶研究室)
- P1-20 オルファン核内受容体 ERR による転写コファクターと基本転写因子を介した多段階転写
活性化機構の発見
中太 智義 (がん研究会がん研究所がんエピゲノムプロジェクト)
- P1-21 慢性炎症による DNA メチル化異常誘発の分子機構
竹島 秀幸 (国立がん研究センター研究所・エピゲノム解析分野)
- P1-22 SWI/SNF の機能異常は胃がんにおいて CIMP を誘発する
山田 晴美 (国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野、
京都大学大学院医学専攻消化管外科学)
- P1-23 胃がん関連長鎖 non-coding RNA の同定と機能解析
北嶋 洋志 (札幌医科大学医学部分子生物学講座)
- P1-24 加齢マウスの雄性生殖系列細胞におけるヒストン修飾分子の発現および局在パターン
館花 美沙子 (東北大学大学院医学系研究科発生発達神経科学)
- P1-25 ヌクレオソームを対象とした転写における塩基構成の役割
加藤 太陽 (島根大学医学部病態生化学)
- P1-26 SIRT2 選択的阻害薬の創製研究
鈴木 孝禎 (京都府立医科大学大学院医学研究科)

- P1-27 遺伝子内クロマチン修飾動態によるヘテロクロマチン制御
稲垣 宗一 (国立遺伝学研究所)
- P1-28 自己抗体の出現が不一致な一卵性双生児における、個体の遺伝背景を考慮した DNA メチル化率の解析
渡邊 幹夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座、
大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター)
- P1-29 マウスにおけるヒストンのリジン - メチオニン変異誘導
阿部 周策 (九州大学生体防御医学研究所エピゲノム制御学)
- P1-30 ヒト・マウス初期胚細胞の一細胞 RRBS メチローム解析のための実用化プロトコル開発
陳 影 (京都大学 iPS 細胞研究所)
- P1-31 クロマチンのアクセシビリティを制御する因子の CRISPR ゲノムワイドスクリーニング
石井 智子 (基礎生物学研究所、総合研究大学院大学)
- P1-32 クロモドメインタンパク Cdy12 は幹細胞エピゲノムのリーダーである
服部 奈緒子 (国立がん研究センター研究所エピゲノム解析分野)
- P1-33 母性ヒストン修飾によるゲノム刷り込み機構
井上 梓 (理化学研究所 生命医科学研究センター)
- P1-34 骨形成因子の応答性から読み解く、発生期神経幹細胞の分化運命決定機構
堅田 明子 (九州大学大学院 医学研究院 基盤幹細胞学分野)
- P1-35 非コード RNA がヌクレオソームに直接与える影響の生化学的解析
藤田 理紗 (早稲田大学先進理工学研究科)
- P1-36 ヒストン H2A リジン 119 番のマロニル化は Bub1 による H2A リン酸化及びシュゴシンタンパク質の染色体局在化を阻害する
川島 茂裕 (東京大学大学院薬学系研究科、
JST-ERATO 金井触媒分子生命プロジェクト)
- P1-37 三層マルチオミクスによる HER2 陽性乳癌の化学治療感受性マーカーの同定
山下 聡 (国立がん研究センター研究所エピゲノム解析分野)
- P1-38 エピジェネティック調節に関わる栄養代謝中間体の探索
早川 晃司 (東京大学農学生命科学研究科応用動物科学専攻)
- P1-39 転写因子を基盤としたマウス神経幹細胞の DNA メチローム変換
今村 拓也 (九州大学医学研究院)

- P1-40 酸化反応と DNA 配列解析法を用いた 5- ヒドロキシメチルシトシンの一塩基解像度検出法の開発
 神山 健太 (東京大学工学系研究科化学生命工学専攻)
- P1-41 HOXC8 の卵巣チョコレート嚢腫における発症・進展への関与
 前川 亮 (山口大学大学院医学系研究科産科婦人科)
- P1-42 SETDY は NCoR-HDAC 複合体と相互作用し脂肪細胞分化におけるエンハンサー活性化を制御する
 松村 欣宏 (東京大学先端科学技術研究センター代謝医学)
- P1-43 UHRF1 と HDAC の阻害は大腸がん細胞においてエピジェネティックにサイレンシングされた遺伝子の発現を回復させる
 鈴木 拓 (札幌医科大学医学部分子生物学講座)
- P1-44 改良型 PBAT 法による高品質で低コストなメチロームシーケンシング
 三浦 史仁 (九州大学大学院医学研究院医化学分野)
- P1-45 ヒストン H3K36 メチル化酵素を介したゲノム維持機構
 浦 聖恵 (千葉大学理学研究院生物学部門)
- P1-46 シロイヌナズナにおける概日リズムによって制御される DNA メチル化と遺伝子発現の変化
 宮崎 裕士 (沖縄科学技術大学院大学 植物エピジェネティクスユニット)
- P1-47 メチロームデータの独立成分分析のための GUI ツール
 荒木 啓充 (九州大学大学院医学研究院医化学分野)
- P1-48 脱分化型脂肪肉腫における脂肪分化関連遺伝子のエピゲノム異常
 高松 広周 (国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野)
- P1-49 ヒト配列置換マウスにおける IG-DMR インプリント制御配列のエピゲノム状態
 原 聡史 (国立成育医療研究センター研究所 システム発生・再生医学研究部)
- P1-50 DNA メチル化を用いた膵癌組織中の膵癌細胞含有率の測定
 石原 弘喜 (国立がん研究センター研究所エピゲノム解析分野、
 東京女子医科大学泌尿器科)
- P1-51 分化前後の ES 細胞における複製ドメインは細胞間で極めて均一なプロファイルを示す
 高橋 沙央里 (理研 CDB/BDR)
- P1-52 ニューロン分化期に多数の遺伝子の発現を制御する機構の解析
 坂井 星辰 (東京大学大学院薬学系研究科分子生物学教室)

- P1-53 KDM2A/2B を介したエピゲノム制御における Jmjc ドメインの機能解析
シャリフ ジャファル (理研 統合生命医科学研究センター (IMS))
- P1-54 大腸鋸歯状腺腫における SMOC1 のエピジェネティクス異常と臨床病理学的意義
山本 英一郎 (札幌医科大学医学部分子生物学講座)
- P1-55 ヒト多能性幹細胞の未分化性制御ネットワークとその進化的起源
杉山 昂太 (関西学院大学 理工学部 生命医化学科)
- P1-56 LSD1 による白血病細胞系譜に応じた代謝制御機構
日野 信次朗 (熊本大学発生学研究所 細胞医学分野)
- P1-57 ショウジョウバエにおける拘束ストレス依存的エピジェネティック遺伝現象と分子機構の
解析
成 耆鉉 (理化学研究所筑波地区)
- P1-58 リジン脱メチル化酵素 LSD1 はグルココルチコイドによる骨格筋代謝プログラムを調節する
阿南 浩太郎 (熊本大学発生医学研究所細胞医学分野)
- P1-59 マウス EpiSC における X 染色体不活性化
市原 沙也 (近畿大学大学院農学研究科バイオサイエンス専攻)

ショートトーク ST-1～10 のポスターは 2 日間掲示されます

ポスター討論 II

P2-1～59、ST-1～10 5月25日(金) 15:00～16:30

- P2-1 CRISPR と BiFC を利用した遺伝子座特異的タンパク質 - タンパク質近接イベント可視化手法の開発
岡田 悟 (九州大学大学院医学研究院医化学分野)
- P2-2 H3F3A 遺伝子変異をもつ小児グリオーマの全ゲノムバイサルファイトシーケンシング解析
三月田 祐平 (九州大学大学院医学研究院 医化学分野、
九州大学大学院医学研究院 脳神経外科)
- P2-3 がん原性遺伝子異常による H3K27me3 の新規制御機構
原地 美緒 (東京女子医科大学 病理学第一講座)
- P2-4 ロイコトリエン B4 第一受容体により規定される新規樹状細胞サブセットの同定
古賀 友紹 (熊本大学発生医学研究所細胞医学分野、
順天堂大学大学院医学研究科生化学・細胞機能制御学講座)
- P2-5 DNA 複製時期可視化レポーターシステムの構築と核内コンパートメント制御因子の網羅的同定の試み
大字 亜沙美 (理化学研究所 CDB/BDR 発生エピジェネティクス研究チーム)
- P2-6 ヒト神経発生における LSD1/CoREST の役割
平野 和己 (産業技術総合研究所・バイオメディカル研究部門)
- P2-7 後口動物における多能性ネットワークの起源と変容
関 由行 (関西学院大学理工学部生命医化学科)
- P2-8 トランスポゾンの抗抑制因子が備える新規標的特異性多様化機構の解析
齋藤 絡 (国立遺伝学研究所育種遺伝研究部門、総合研究大学院大学遺伝学専攻)
- P2-9 ATAC-seq 法を用いたトリプルネガティブ乳癌のエピゲノム多様性の解析
楊 麗英 (がん研究会・がん研究所・がんエピゲノムプロジェクト)
- P2-10 PRC1.1 による発生遺伝子発現活性化機構の解析
近藤 隆 (理研 生命医科学研究センター 免疫器官形成研究チーム)
- P2-11 ヒストンメチル化酵素 G9a は卵子形成と初期発生を制御する
歐陽 允健 (九州大学生体防御医学研究所 エピゲノム制御学分野)
- P2-12 大腸がんにおける diacylglycerol kinase gamma のエピジェネティックな不活性化
甲斐 正広 (札幌医科大学医学部分子生物学講座)

- P2-13 遺伝子 CpG サイト分布の描画ツール「CyGnusPlotter」の開発
坂口 和弥 (国立長寿医療研究センター 再生再建医学研究部)
- P2-14 ヒトβグロビン遺伝子座における H19-ICR 断片挿入の効果とクロマチン立体構造解析
平川 勝彦 (筑波大学生命環境科学研究科)
- P2-15 H19-ICR 反転による H19 遺伝子転写制御機構の *in vivo* 解析
宮嶋 優 (筑波大学大学院生命環境科学研究科)
- P2-16 DNA 複製に伴うクロマチン上での TRIM28 及び SETDB1 の動態解析
永谷 智実 (東京大学 医科学研究所)
- P2-17 維持メチル化因子 PAF15 と USP7 の相互作用解析
宮下 諒太 (東京大学医科学研究所・癌防御シグナル分野)
- P2-18 Gene body エピジェネティック修飾の細胞種特異的不均一性と進化的ゲノム配列要素選択の関与
小田 真由美 (慶應義塾大学医学部・システム医学)
- P2-19 トランスポゾン転移酵素 TN5 のクロマチン構造特異性の解析
佐藤 祥子 (東京大学定量生命科学研究所)
- P2-20 血液中遊離 DNA の異常メチル化を利用した膵臓がん診断法の開発
新城 恵子 (名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学)
- P2-21 EDM2 および ASI1 のゲノム局在とその役割
三木 大介 (中国科学院上海植物逆境生物学研究中心)
- P2-22 イネ幹細胞の DNA メチル化動態の特徴およびその制御機構の解析
肥後 あすか (横浜市立大学木原生物学研究所)
- P2-23 rCBP-dependent regulation in rice innate immunity
Nino Espinas (Plant Epigenetics Unit,
Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University (OIST))
- P2-24 Sortase 認識タグを付加したエピジェネティクス研究用リコンビナント抗体
米沢 理人 (Active Motif Inc.)
- P2-25 クロマチン質量分析を用いた維持 DNA メチル化制御因子の同定
隈本 宗一郎 (東京大学医科学研究所癌・細胞増殖部門癌防御シグナル分野)
- P2-26 マウス ES 細胞ゲノムインプリンティング領域の DNA メチル化を正常に維持するための培養条件の探索
松沢 歩 (東京医科歯科大学難治疾患研究所エピジェネティクス分野)

- P2-27 体細胞におけるヒストンメチル化酵素 Setdb1 の機能解析
加藤 雅紀 (理化学研究所眞貝細胞記憶研究室)
- P2-28 分裂酵母のヘテロクロマチン構造形成における Chp2 の役割
中山 潤一 (基礎生物学研究所クロマチン制御研究部門)
- P2-29 2つの多能性幹細胞の特性を分けるエピジェネティックバリアーにおける DNA メチル化の役割
浦 大樹 (理化学研究所バイオリソースセンター)
- P2-30 マウス H19-ICR 内 CTCF 結合配列の低メチル化状態維持に必要な Sox-Oct モチーフ依存的な活性
久保 修一 (鳥取大学大学院医学系研究科生命科学専攻分子生物学講座)
- P2-31 ポリコム群タンパク質を介した lncRNA による疾患責任遺伝子の発現抑制調節に関する検討
細木 華奈 (大阪母子医療センター研究所代謝部門)
- P2-32 マウス胚発生過程における不活性 X 染色体上の H4K20me1 集積動態
佐藤 優子 (東京工業大学科学技術創成研究院)
- P2-33 エピジェネティクスが駆動する遺伝と進化 : 細菌での OMICS 解析
小林 一三 (東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻、
パリ大学サクレール校、杏林大学医学部感染症学講座)
- P2-34 維持メチル化の構造基盤 -UHRF1 による複製因子 LIG1 の認識機構 -
郡 聡実 (横浜市立大学生命医科学研究科)
- P2-35 ヒストン H3.3 サブバリエント H3mm13 は骨格筋再生に必要である
小松 哲郎 (九州大学 生体防御医学研究所 トランスクリプトミクス分野)
- P2-36 細胞老化に関わるヒストン修飾因子の探索と機能解析
田中 宏 (熊本大学発生医学研究所細胞医学分野)
- P2-37 幹細胞分化にともなう三次元高次構造と DNA 複製タイミングの動態と協調的制御
平谷 伊智朗 (理研 CDB/BDR)
- P2-38 メダカにおける H3K27me3 *in vivo* エピゲノム編集
福嶋 悠人 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)
- P2-39 酵母凝集遺伝子 *FLO1* プロモーター活性を指標とした DNMT 阻害様活性の検出
杉山 圭一 (国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部)

- P2-40 単一細胞 RNA-seq 法によるマウス新生仔精原細胞の遺伝子発現解析と転写抑制因子 Dec2 の機能解析
牧野 吉倫 (東京大学・定量生命科学研究所・病態発生制御研究分野)
- P2-41 ヌクレオプラスミン 2 を用いた精子ヒストン残存領域の再評価
山口 幸佑 (東京大学定量生命科学研究所病態発生制御)
- P2-42 Swi6/HP1 変異体によるヘテロクロマチン因子 Epe1 の発現制御
佐藤 道明 (北海道大学大学院総合化学院)
- P2-43 シークワサー果皮に含まれるヒストン修飾調節活性成分の探索
杉崎 未来 (早稲田大学先進理工学研究科化学・生命化学専攻)
- P2-44 発生段階特異的な機能的ゲノム高次構造の探索
富川 順子 (成育医療研究センター研究所 周産期病態研究部)
- P2-45 心筋細胞の細胞周期逸脱における H3K9me3 の関与
小山 恭平 (旭川医科大学外科学講座、
Division of Cardiology, Department of Medicine, University of Washington)
- P2-46 ヒ素曝露による孫世代肝腫瘍増加に関わる DNA メチル化で制御される遺伝子の肝星細胞株における機能解析
岡村 和幸 (国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター)
- P2-47 F0 マウス妊娠期ヒ素曝露が F1 雄を介して F2 世代で肝腫瘍を増加させる機序の探索 : F1 精子の DNA メチル化解析
野原 恵子 (国立環境研究所環境リスク・健康研究センター)
- P2-48 イントロン内トランズジーンのエピジェネティック制御
長部 謙二 (沖縄科学技術大学院大学 植物エピジェネティクスユニット)
- P2-49 エピゲノム制御因子 Epe1 の機能ドメイン解析
海東 亘 (北海道大学大学院総合化学院)
- P2-50 MeCP2 による *LBX1* 遺伝子制御を介したレット症候群発症機序の解明
堀家 慎一 (金沢大学学際科学実験センターゲノム機能解析分野)
- P2-51 一細胞トランスクリプトーム、エピゲノム解析を用いた心不全における心筋細胞ダイナミクの統合的解析
藤田 寛奈 (東京大学先端科学技術研究センターゲノムサイエンス分野、
東京大学大学院医学系研究科循環器内科学)
- P2-52 クロモドメインタンパク質 MPP8 の RNA 結合能の解析
濱田 京子 (基礎生物学研究所クロマチン制御研究部門)

- P2-53 *TERT*-DMR の高メチル化は核ラミナとの結合を介して *TERT* 発現獲得に寄与する
高澤 建 (宮崎大学獣医機能生化学研究室)
- P2-54 ゲノム DNA 中のメチルシトシンを標的とした DNA 光操作法の開発
中村 重孝 (北陸先端科学技術大学院大学)
- P2-55 エピゲノム編集を用いたペリセントロメア・セントロメア領域における DNA メチル化機能の解析
山崎 大賀 (北里大学メディカルセンター研究部門)
- P2-56 新規 HP1 結合タンパク質 AHDC1 はヘテロクロマチンボディー形成に影響を与える。
岩田 優吾 (大阪大学理学研究科生物科学専攻)
- P2-57 コーヒー由来のヒストン修飾調節活性および神経幹細胞分化調節活性を有する化合物の探索
長島 侑希 (早稲田大学先進理工学研究科化学・生命化学専攻)
- P2-58 レトロウイルス型トランスポゾン Tf1 の転移抑制因子の解析
金子 隼也 (北海道大学大学院総合化学院)
- P2-59 ヘテロクロマチン因子 HP1 サブタイプ観察系の樹立の試み
野口 翔平 (大阪大学理学研究科生物科学専攻)